



# 木耐博士 S ver3.1.0.1

## 接合金物機能

## 操作マニュアル

# 1

## 本マニュアルについて

- ・本マニュアルは、「木耐博士S」バージョン 3.1.0.1 から加わった「接合金物機能」について説明するものです。
- ・本機能はN値計算の結果に応じて、あらかじめ設定された接合部金物を自動的に選択し表示するものです。
- ・バージョン 3.1.0.1 ではこのほかに、プランコピー機能、プラン削除機能、補強部材一覧データ出力機能が加わりました。
- ・本プログラムについては、(財)日本建築防災協会の木造住宅耐震診断プログラム評価対象外です。
- ・本プログラムの開発元および販売元はエイム株式会社です。

### 注意

- (1) 本書のコピーや転載は固く禁止します。特にコンピュータ関係の会社に対しての資料の流出を禁止します。
- (2) お使いのOS・ソフトにより、動作・画面等が本書の説明通りではないことがあります。個別にご確認下さい。
- (3) 本書の内容に関しては、予告なしに変更することがあります。  
また本書とソフトウェアの動作に差異があった場合は、ソフトウェアが優先します。
- (4) 記載されている商品名は一般にエイム(株)の商標登録です。

### Ver3.1.0.1 について

- ・N値計算結果に応じて、接合金物を自動的に選択し表示する「接合金物機能」が加わりました。
- ・従来は現状(診断結果)のみコピーが可能でしたが、本バージョンからは現状だけでなく補強案1~3からもコピーが可能となりました。
- ・補強案をすべて削除する「プラン削除機能」が加わりました。
- ・補強案で使用した補強部材一覧データをCSVで出力する「数量出力機能」が加わりました。  
「数量出力機能」については別紙補強部材一覧作成マニュアルをご参照ください。

## 2 接合金物機能

### 操作の手順

木耐博士 S を使用して、補強プランの作成を行います。

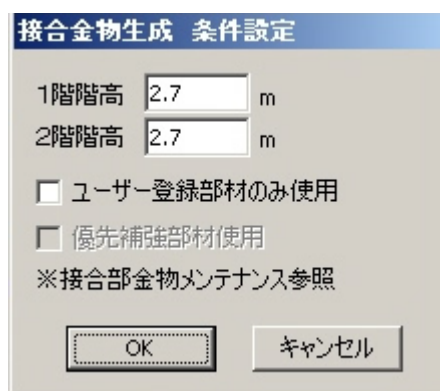
「出力画面」「耐震」「接合金物」の順にボタンを押します。



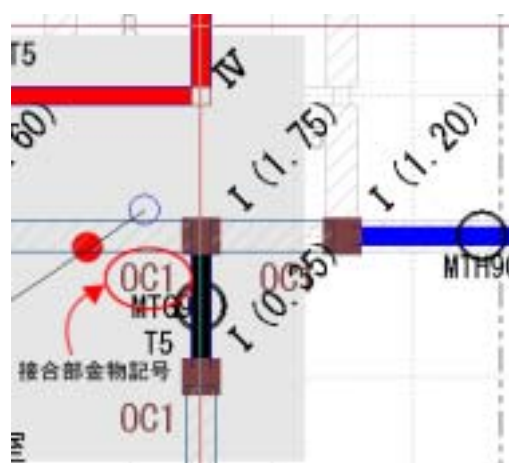
階高や金物選定オプションを選択しOKを押します。

ユーザー登録部材のみ使用...マスターメンテナンスの接合部金物メンテナンスでユーザー登録部材にチェックのある金物からのみ選択します。(P5 参照)

優先補強部材使用...接合部金物メンテナンスで優先補強部材にチェックのある金物を優先して選択します。(P5 参照)



N値計算結果から最適な金物を接合部金物メンテナンスより自動的に選択し、出力画面に接合金物記号を表示します。



接合金物記号の表示をさせたくない場合は、「設定」→「機能設定」の順にクリックして頂き「柱表示設定」の「接合金物」のチェックを外して下さい。

Ver3.1.0.1 以前のバージョンで作成した診断書をそのまま出力する場合には、右図の「接合金物」のチェックを外して下さい。



< 補足 > 接合部金物機能の計算ロジック

N値計算結果から引き抜け力を求めます。

$$\text{引き抜け力} = N \text{ 値} \times 1.96 (\text{kN/m}) \times \text{階高} (\text{m})$$

引き抜け力以上の金物を、接合部金物メンテナンスから選択します。



参考: 接合部金物メンテナンスにおけるユーザー登録部材と優先補強部材の関係

< ユーザー登録部材のみ使用にチェックがない場合 >

[A 接合部金物メンテナンス]の部材で、引き抜け力以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

< ユーザー登録部材のみ使用にチェックのある場合 >

[B ユーザー登録部材]で、引き抜け力以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

< 優先補強部材使用にチェックのある場合 >

引き抜け力 3kN 優先補強部材

[C 優先登録部材]を優先します。

引き抜け力 3kN > 優先補強部材

[B ユーザー登録部材]で、引き抜け力 3kN以上以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

< 2 面施工フラグの金物 >

1 本の柱に対して 2 面から施工が可能な場合で(補強しようとする壁が直行している場合など)、引き抜け力が接合部金物メンテナンスに登録している金物の短期耐力を超える場合は、2 面施工フラグにチェックの入った金物を選択します。

引き抜け力が接合部金物メンテナンスに登録しているすべての金物の短期耐力を超える場合は、接合部仕様を「 」に変更します。(補強プランの見直しが必要になります)

< ユーザー登録部材のみ使用にチェックがない場合 >

[A 接合部金物メンテナンス]の部材で、引き抜け力 3kN以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

< ユーザー登録部材のみ使用にチェックのある場合 >

[B ユーザー登録部材]で、引き抜け力 3kN以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

< 優先補強部材使用にチェックのある場合 >

引き抜け力 3kN 優先補強部材

[C 優先登録部材]を優先します。

引き抜け力 3kN > 優先補強部材

[B ユーザー登録部材]で、引き抜け力 3kN以上以上の部材かつその中で短期耐力が一番小さい部材を選択します。

初期値では、最大が「引き寄せ金物HD - B25(S - HD25) × 2」の短期耐力 50kNになります。

例)引き抜け力 42kNの場合  $42\text{kN} / 2 = 21\text{kN}$ より引き寄せ金物HD - B25(S - HD25) × 2 を選択し図面への表記は (り) × 2 の表記になります

## 接合部金物メンテナンス

「マスターメンテナンス」「接合部金物メンテナンス」の順にクリックして下さい。



接合部金物メンテナンスが開きます。



< 新しい金物を設定する場合 >

「追加」をクリックします。



各項目を入力します。

「No」...100～1000 未満を設定してください。

「商品名」 「短期耐力隅柱用」 「短期耐力中間柱用」...任意

「記号」...任意(2文字～3文字推奨)

「2面施工フラグ」...1本の柱に2面施工する仕様の場合にチェックします。

短期耐力は1面と異なりますのでご注意ください。

「ユーザー登録部材」...チェックを入れると、接合金物生成時ユーザー登録部材のみを使用して計算する場合に選択されるようになります。

各項目に入力します。

「優先補強部材」...チェックを入れると、接合金物生成時優先補強部材を使用して計算する場合に選択されるようになります。(P4 参照)

入力例

OKを押すと、接合金物メンテナンスに追加されます。

< 既存の情報を編集する場合 >  
編集したい金物を選択し、「編集」をクリックします。

任意で情報を編集し、OKを押します。

< 既存の情報を削除する場合 >  
削除したい金物を選択し、「削除」をクリックします。

初期値で登録されている接合部は削除できません。



# 3

## その他機能について

### 補強案のコピー

「補強案」のタブをクリックします。



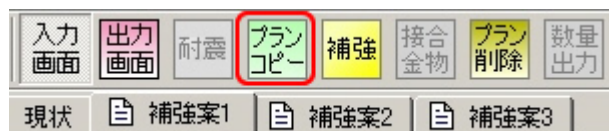
「プランコピー」ボタンをクリックし、コピー元を選択します。

現況...現況に入力されている情報をコピーします。

補強案 1...補強案 1 に入力されている情報をコピーします。

補強案 2...補強案 2 に入力されている情報をコピーします。

補強案 3...補強案 3 に入力されている情報をコピーします。



コピーされました。



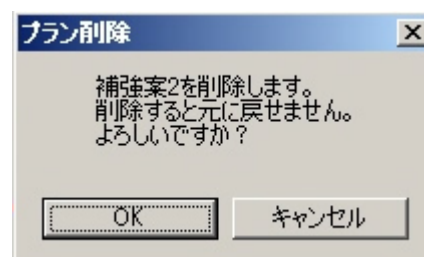
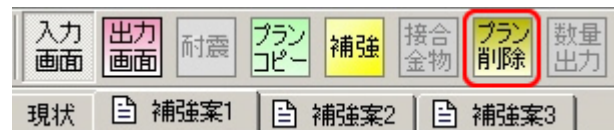


## 補強案の削除

削除したい「補強案」のタブをクリックします。



「プラン削除」ボタンをクリックします。



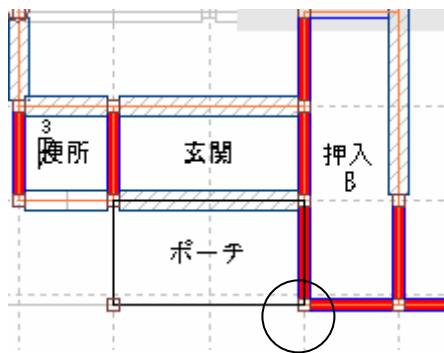
削除されました。



## 区画の「ポーチ」の追加機能

出隅柱の認識をさせる場合に使用します。

右図の 部分の柱は、部屋にて入力した場合中間柱として認識します。そのため出隅柱かつポーチの面積を算入する場合は区画にて入力します。

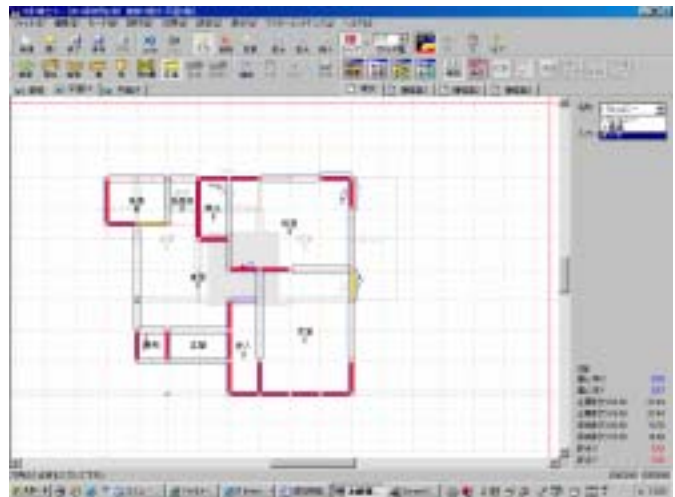


### 手順

「ポーチ」をクリックします。

「入力」の「区画」にて、名称「ポーチ」を選択します。

名称は変更出来ません。したがって、車庫等についても全て「ポーチ」となります。



範囲を選択します

